



滋賀県草津市立草津中学校

令和4年4月18日(月)発行

「いのちがやき 心豊かな生徒の育成」
～ひとを大切に ひとつを大切に～

4月15日現在 全校生徒数664人



大人としての生き方を考えること

草津中学校

校長 高田 聡

新年度がスタートしました。令和3年度末の人事異動により、松原中学校から赴任して参りました高田 聡(あきら)と申します。どうぞよろしく申し上げます。草津中学校には通算18年の勤務となりました。保護者のみならず、祖父母の方々も顔を知っている人がおられるかもしれないと思っています。

さて、この4月1日から成年の年齢が18歳に引き下げられました。また、これに先立って選挙権が引き下げられてきた経緯などもあり、改めて「18歳からできるようになったことは?」「従来通り、20歳以上とされていることは?」というように、成年と未成年の境目について、中学生として考えてみようと思います。

新たに成年の仲間入りをした18歳や19歳の人にとって、大きな変化の一つは「親の同意を得なくても、一人で様々な契約ができるようになる」という点です。携帯電話の購入やクレジットカードを持つことなど。それらは「大人として認められたからこそ得られる自由」なのでしょうが、一方では「未成年として受けてきた保護がなくなる」という側面もあります。



法律で「自由」が認められたとしても、そこには必ず「責任」が伴うことも認識しなければなりません。しかし、ここで考えておきたいことは、法律上の問題だけではありません。よくよく考えてみると、誰も生まれてすぐの頃は身の回りのことも満足にできなかったはずで、ここから家族をはじめとする周囲の大人たちのお世話を受けることで、心身共に成長することができます。その成長の度合いにしても「自分のことは自分でできる」というだけでなく、徐々に周囲の状況にも目を向けることができるようになっていき、やがて自分自身も「誰かのお世話をする側」の立場になるという変化も「大人になる」ということではないでしょうか。自分一人の事だけでなく、周囲の人たちのことを考える。また、家族や友人などの身近な人だけでなく、地域社会や日本の国全体の事、さらには世界の事へと視野を広げたうえで、「その一員としての自分にできることを考える。「大人になった:という時には、法律で保障される自由や権利の側面だけでなく、大人として生き方についても考えを深めなければなりません。



そこには「社会の一員としての責任を負わなければならない」という重苦しさだけでなく、「自分自身の喜びや安心、生きがいにつながる」という前向きな意味も発見できるのではないのでしょうか。幼い頃に周囲の大人たちによるお世話を受けてきたように、「誰かに何かをしてもらうこと」も一つの幸せでしょう。しかし、いつまでも「してもらうこと」を期待するばかりでは、「してもらえなかったとき」には不満が募ることにもなりかねません。また、「自分のことは自分でできる」というのも幸せの一つと言え

ますが、もう一歩進んだ段階にあるのは「自分が誰かの役に立っている」ということを実感したときに味わう喜びであり、幸せではないでしょうか。誰かの喜びのために自分の時間を使い、時には汗を流す。そうした苦労や努力の結果は、自分以外の誰かが受け取ることになるかもしれません。



しかし、そうして相手に喜んでもらうことができたとき、同時に自分自身の心の中にも「お役に立ててよかった」という喜びが生まれてくるはずですが、何より、私たちの生活は、家族や友人をはじめとして多くの人たちとの関わり合いの中にあります。自分一人の喜びを追い求めるばかりでは、周囲との衝突が多くなり、自分自身も過ごしにくくなってしまいます。一方、誰かの喜びのために尽くそうとする人の周りには、温かい人間関係が広がっていきます。その中でこそ、私たちは生き生きとして、喜びと安心に満ちた毎日を送ることができるのでしょ

う。

この先も長く続いていく私たちの人生を安心と喜びに満ちたものにするためには、絶えず自分の心を成長させていく必要があります。それは周囲の人や社会の役に立ち、喜びを広げていくこととも深く関わってきます。今、私たちは生活上の大きな変化を迫られる中で、自分の事だけを考えてといった傾向が強くなってきてはいないでしょうか。もし、私たちが知らず知らずのうちに「自分さえ良ければ」という思いを膨らませていったなら、社会の安定も自分自身の安心も失われていく

ことでしょう。よりよい社会があって

こそ、私たちは安心して暮らしていくこ

とができるのです。もちろん、私たちは

良い生き方をしたいと願いながらも、必

ずしも予想通りにはいかないという、人

間としての弱さを抱えています。しかし、

そうした不完全さを持つ人間だからこそ、

事あるごとに自分の心を省みて、自分自身

に対しても、さらには他人や社会に対しても

誠実な「大人としての生き方」を志した

いものです。

